

これまでの経緯について

○平成 24 年度「東北観光の実態把握および分析業務」

(資料 2-1、2-2)

東北観光博開催期間中の東北地方への観光入込客数の動向を把握するとともに、東北観光博開催の効果等の把握・分析を目的として実施した。本調査では、携帯電話の GPS データから得られる混雑統計と既存の統計データを比較し、東北地方での市町レベルの相互流動を分析した。

○平成 25 年度「GPS 機能による位置情報等を活用した観光行動の調査分析」

(資料 3-1、3-2、4-1、4-2)

調査では、株式会社ゼンリンデータコム社の「混雑統計®」を用いて観光客の行動分析を行った。「混雑統計®」は、“地域に流入する人口を把握できる「人の流れ統計データ」”である。「混雑統計®」は、地域に流入する人口について、任意の期間を指定して日別・曜日別・時間帯別に見る事が可能な「流動人口統計データ」等に活用されており、時間ごとに推移する地域の人口を可視化することが可能である。

○平成 26 年度「ICT を活用した訪日外国人観光動態調査(実証実験)」

(資料 5-1、5-2、5-3、5-4)

全国及び特定地域について小規模な試行実験を行い、技術的な確認や課題の洗い出し、その対策等を検討した。